

【学生優秀発表賞受賞記念文】

第 47 回日本基礎老化学会大会 感謝を込めて

戸田 陸斗

東海大学 工学研究科 応用理化学専攻

この度は第 47 回日本基礎老化学会大会において学生奨励賞に選出していただき、誠にありがとうございます。本大会は「老化における医工連携」というテーマがありましたが、その中の一つとして開催された医工連携シンポジウムは非常に興味深い内容が多く、工学部に所属している私からすると今後の励みになる機会となりました。本大会を開催していただきました、大会長である福井浩二先生をはじめ、大会関係者の皆様に御礼申し上げます。

私は本当に多くの先生方にご助力いただき本研究に取り組んでいくことができたと感じています。私が今回の大会で発表した研究に出会ったのは、学部 3 年時でした。当時、私は筋トレに熱中していたこともあり、筋肉に関する研究に取り組んでみたいと考えていました。所属する工学部では筋肉に関する研究はそこまで行われていなかったため、学部外の研究室を視野に入れ始めました。そんな時、健康学部の安田佳代先生の研究室紹介に「筋肉」という文字が書かれているのを見て、是非内容をお聞きしたいと思い研究室を訪ねました。訪ねると、筋肉に関する研究はこれから立ち上げる予定であったらしく、本当に運良く本研究の立ち上げに関わることができました。そこから、東海大学医学部の石井恭正先生を紹介していただき、マウスの筋肉を用いた研究を行う流れとなりました。私たちの研究室としても筋肉に焦点を当てた研究は初めてだったこともあり、研究の立ち上げは分からないことだらけでした。そんな中、骨格筋の種類やその採材方法、実験手技などをご教示いただきまし

た、順天堂大学の町田修一先生には心から感謝しております。また、実験を開始してからも、予備検討などを含めて上手くいかないことも多く、その度に改善方法をご教示いただきました東海大学の宮沢正樹先生にも非常に感謝しております。こうして、多くの先生方にご助力いただきながら、何とか研究を軌道に乗せ、本学会大会にて演題発表をさせていただくことができました。発表では貴重なご意見をいただくことができ、これから研究をしていく上で大変励みになっております。誠にありがとうございました。

私が所属する研究室は老化や酸化ストレスに焦点を当てており、線虫やマウスを駆使して研究を行っています。その中で、私はミトコンドリア障害による筋萎縮のメカニズムを解明するため分子レベルから解析をしています。本大会ではミトコンドリア障害による筋萎縮に対してオートファジーの誘導が増進されているということを示しました。今後は博士課程に進学する予定があり、最終的には本研究テーマを学位論文に仕上げたいと考えています。

まさか、筋トレが好きというところから本研究に出会い、修士課程を経て、博士課程にまで進学するなど、その時の私は想像もしていませんでした。そんな凡人中の凡人の私ですが、これからも多くの先生方にご助力いただきながら、日々精進し、本研究をより良いものにする事で、社会の発展に貢献していけたらと考えております。本当にありがとうございました。



(写真左：学生奨励賞受賞時の写真、右から 2 番目著者。写真右：東海大学名誉教授石井直明先生門下の面々、左から東海大学工学研究科修士課程 1 年吉川咲帆、健康学部講師安田佳代先生、著者、医学部准教授石井恭正先生、健康学部准教授宮沢正樹先生、大東文化大学スポーツ健康科学部教授築瀬澄乃先生)